

平成17年国勢調査従業地・通学地集計結果 福岡市の概要

平成17年10月1日現在で実施された「平成17年国勢調査」の従業地・通学地集計結果（確定数）の福岡県分が、このほど総務省統計局より公表されましたので、福岡市の概要をお知らせします。

《結果の概要》

1 昼間人口

(1) 概要

昼間人口は 1,571,184人、前回より2.6%増

(2) 区別

博多区と中央区の昼間人口は、夜間人口の2倍近く

(3) 年齢、男女別

昼夜間人口比率が高い年齢は、男性は50～54歳、女性は15～19歳

(4) 15大都市

本市の昼間人口は第7位、昼夜間人口比率は第4位

2 通勤・通学人口

(1) 本市を従業地・通学地とする人口

市内の15歳以上就業・通学者の約3割が市外から

(2) 本市に常住する人の通勤・通学人

本市に住む15歳以上就業・通学者の1割超が市外へ

なお、福岡県分の詳しい統計表は総務省統計局のホームページに掲載されています。

<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2005/jutsu1/40/hyodai.htm>

今後の集計と公表予定

- ・ 就業者の職業別構成、母子世帯等の状況 平成19年12月頃
- ・ 町丁字等の小地域集計 平成19年 4月以降順次

今後の刊行予定

- ・ 国勢調査結果 [確定数Ⅱ] 平成19年10月頃
昼間人口、人口の移動状況、小地域の人口 (小学校区・統計区別)
- ・ 国勢調査結果 [確定数Ⅲ] 平成20年 3月頃
産業別・職業別構成、母子世帯等の状況
- ・ 福岡市のメッシュ統計 平成20年 3月頃
地域メッシュによる人口、世帯

1 昼間人口

(1) 概要

昼間人口は1,571,184人、前回より2.6%増

平成17年10月1日現在の本市の昼間人口は1,571,184人で、前回（平成12年）に比べ、40,010人増加し、増加率は2.6%となっています。

夜間人口（総人口から年齢不詳を除いた人口）は1,384,925人で、前回に比べ、48,263人増加、増加率は3.6%となっています。

通勤・通学による本市への流入人口は262,548人、一方、本市からの流出人口は76,289人で、差し引き186,259人の流入超過となっていますが、流入超過人口は前回に比べ、8,253人減少（減少率4.2%）しています。

夜間人口100人当たりの昼間人口の割合を示す昼夜間人口比率は113.4で、前回より1.2ポイント下降しました。

昼間人口及び夜間人口の増加率は、昭和60年以降最低となりました。また、平成12年以降、夜間人口の増加率が昼間人口の増加率を上回っており、昼夜間人口比率も下降を続けています。

図1 昼間人口及び夜間人口の推移

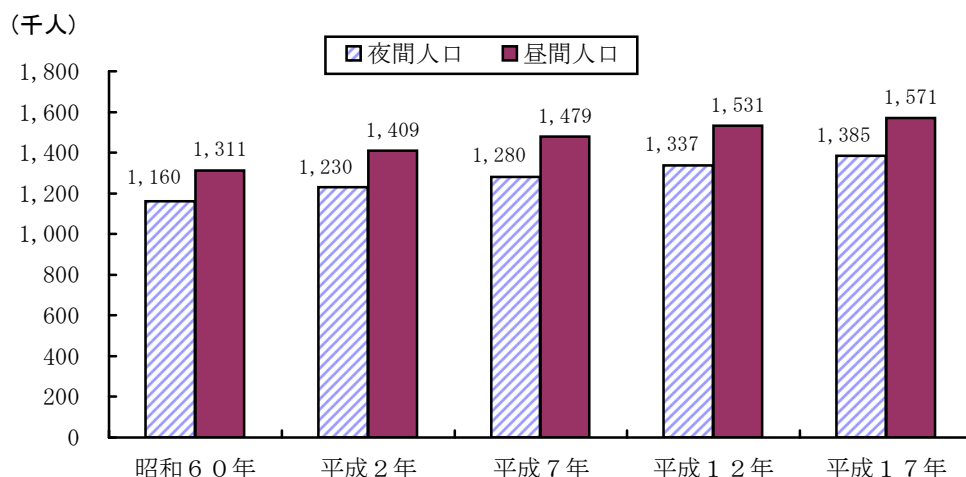


表1 昼間人口、夜間人口及び昼夜間人口比率等の推移

年次	常住地による人口 (夜間人口)		流入人口	流出人口	流入超過人口	従業地・通学地による人口 (昼間人口)		昼夜間人口比率 (%)
	実数	増加率(%)				実数	増加率(%)	
昭和60年	1,159,521	6.7	196,662	44,988	151,674	1,311,195	6.7	113.1
平成2年	1,229,865	6.1	236,602	57,125	179,477	1,409,342	7.5	114.6
平成7年	1,280,405	4.1	266,527	67,846	198,681	1,479,086	4.9	115.5
平成12年	1,336,662	4.4	265,156	70,644	194,512	1,531,174	3.5	114.6
平成17年	1,384,925	3.6	262,548	76,289	186,259	1,571,184	2.6	113.4

注) 常住地による人口(夜間人口)、従業地・通学地による人口(昼間人口)には、年齢不詳の人口を含まない。

(2) 区 別

博多区と中央区の昼間人口は、夜間人口の2倍近く

行政区別に昼間人口を見ると、博多区の363,913人をトップに、中央区292,447人と続き、以下、東区、南区、早良区、西区、城南区の順となっています。前回と比べ、昼間人口はすべての行政区で増加しました。

昼夜間人口比率を見ると、博多区(192.3)と中央区(179.4)が高い比率で昼間人口が多くなっています。一方、東区、西区、早良区、南区、城南区はいずれも100以下で、夜間人口が昼間人口より多くなっています。

流入超過人口を前回と比べると、西区(1,126人増)と早良区(692人増)で増加しているものの、博多区(4,280人減)、南区(2,725人減)、東区(1,686人減)、中央区(832人減)、城南区(548人減)の5行政区は減少しています。特に、中央区(7ポイント下降)と博多区(6.9ポイント下降)で昼夜間人口比率の下降幅が大きくなっています。

図2 区別昼間人口及び夜間人口

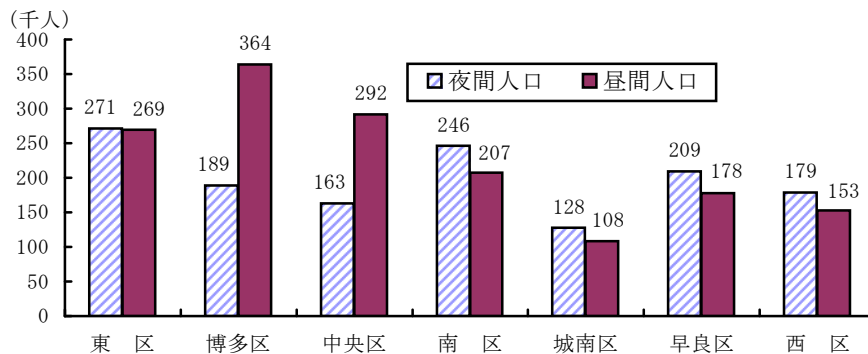


表2 区別昼間人口、夜間人口及び昼夜間人口比率の推移

年次区別	常住地による人口 (夜間人口)		流入人口	流出人口	流入超過人口	従業地・通学地による人口 (昼間人口)		昼夜間人口比率 (%)
	実数	構成比(%)				実数	構成比(%)	
平成 17 年								
全市	1,384,925	100.0	262,548	76,289	186,259	1,571,184	100.0	113.4
東区	271,184	19.6	66,973	68,855	-1,882	269,302	17.1	99.3
博多区	189,255	13.7	212,313	37,655	174,658	363,913	23.2	192.3
中央区	162,979	11.8	166,900	37,432	129,468	292,447	18.6	179.4
南区	245,691	17.7	39,595	78,214	-38,619	207,072	13.2	84.3
城南区	127,909	9.2	24,403	44,619	-20,216	107,693	6.9	84.2
早良区	209,143	15.1	34,563	65,718	-31,155	177,988	11.3	85.1
西区	178,764	12.9	27,548	53,543	-25,995	152,769	9.7	85.5
平成 12 年								
全市	1,336,662	100.0	265,156	70,644	194,512	1,531,174	100.0	114.6
東区	267,003	19.3	67,742	67,938	-196	266,807	17.0	99.9
博多区	180,454	13.0	214,818	35,880	178,938	359,392	22.9	199.2
中央区	150,871	10.9	167,352	37,052	130,300	281,171	17.9	186.4
南区	242,930	17.5	41,449	77,343	-35,894	207,036	13.2	85.2
城南区	125,743	9.1	24,615	44,283	-19,668	106,075	6.8	84.4
早良区	203,048	14.7	34,383	66,230	-31,847	171,201	10.9	84.3
西区	166,613	12.0	25,063	52,184	-27,121	139,492	8.9	83.7

注1) 常住地による人口(夜間人口)、従業地・通学地による人口(昼間人口)には、年齢不詳の人口を含まない。

注2) 各区の流入・流出人口には、本市の他区との流入、流出を含む。

注3) 全市の流入・流出人口には、本市の各区間の流入、流出は含まない。

(3) 年齢、男女別

昼夜間人口比率が高い年齢は、男性は50～54歳、女性は15～19歳

年齢5歳階級別、男女別に昼間人口を見ると、男女ともすべての年齢階級で昼間人口が夜間人口を上回っています。

男女別では、女性が男性より夜間人口が59,361人多く、昼間人口も女性が11,936人男性を上回っていますが、流入超過人口は、男性が116,842人で、女性の69,417人の約1.7倍となっており、昼夜間人口比率は男性が117.6、女性が109.6となっています。

男性の昼夜間人口比率は、15歳～64歳の幅広い年齢階級でいずれも116以上となっており、特に50～54歳が最高の130.1となっています。女性では、15～19歳の130.0をピークに、年齢が高くなるにつれてゆるやかに低下しています。流入超過人口は、男性では55～59歳が14,334人、女性では20～24歳が13,462人と、それぞれ最も多くなっています。

図3 年齢階級、男女別昼夜間人口比率

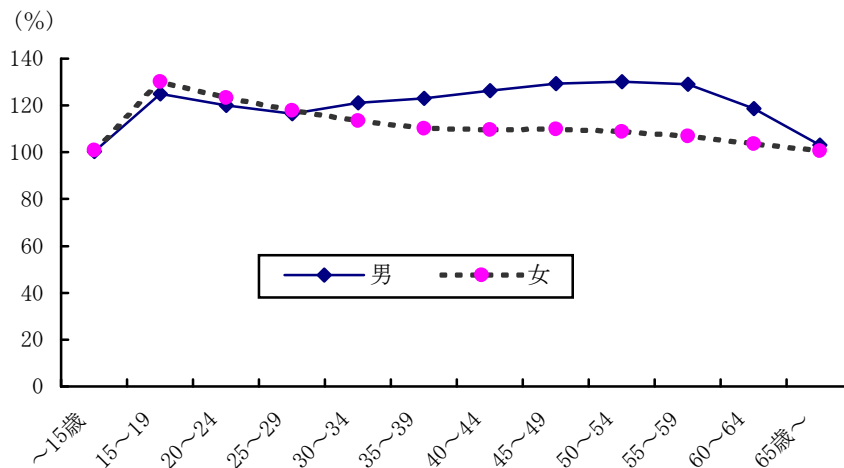


表3 年齢階級、男女別昼間人口、夜間人口及び昼夜間人口比率

年齢 (5歳階級)	男				女			
	常住地による人口 (夜間人口)	流入超過人口	従業地・通学地による人口 (昼間人口)	昼夜間人口比率 (%)	常住地による人口 (夜間人口)	流入超過人口	従業地・通学地による人口 (昼間人口)	昼夜間人口比率 (%)
総数	662,782	116,842	779,624	117.6	722,143	69,417	791,560	109.6
～15歳	96,133	293	96,426	100.3	91,827	732	92,559	100.8
15～19	42,722	10,677	53,399	125.0	39,910	11,986	51,896	130.0
20～24	60,227	12,037	72,264	120.0	57,723	13,462	71,185	123.3
25～29	55,080	9,077	64,157	116.5	59,360	10,519	69,879	117.7
30～34	58,252	12,312	70,564	121.1	62,361	8,392	70,753	113.5
35～39	49,266	11,322	60,588	123.0	53,044	5,452	58,496	110.3
40～44	43,818	11,591	55,409	126.5	46,630	4,529	51,159	109.7
45～49	41,311	12,166	53,477	129.4	43,646	4,314	47,960	109.9
50～54	45,472	13,694	59,166	130.1	47,831	4,251	52,082	108.9
55～59	49,177	14,334	63,511	129.1	52,431	3,643	56,074	106.9
60～64	35,005	6,577	41,582	118.8	40,319	1,443	41,762	103.6
65歳～	86,319	2,762	89,081	103.2	127,061	694	127,755	100.5

注) 常住地による人口(夜間人口)、従業地・通学地による人口(昼間人口)には、年齢不詳の人口を含まない。

(4) 15大都市

本市の昼間人口は第7位、昼夜間人口比率は第4位

15大都市の昼夜間人口比率を比較すると、大阪市が138.0と最も高く、次いで、東京都区部135.1、名古屋市114.7と続き、本市は113.4で第4位となっています。

流入超過人口では、東京都区部が2,932,744人と最も多く、以下、大阪市986,989人、名古屋市322,223人と続き、本市は186,259人で昼夜間人口比率と同様に第4位となっています。

前回と比べると、さいたま市(0.3ポイント上昇)を除いた14都市で昼夜間人口比率が下降しており、下降が最も大きいのは大阪市(3.2ポイント下降)、以下、東京都区部(2.4ポイント下降)、名古屋市(2.3ポイント下降)と続いています。

昼間人口が夜間人口を上回っているのは11都市で、東京近郊の川崎市、横浜市、さいたま市、千葉市では昼間人口が夜間人口を下回っています。

昼間人口は、東京都区部が11,284,699人と最も多く、以下、大阪市3,581,675人、横浜市3,205,144人と続き、本市は7番目となっています。

昼間人口を前回と比べると、11都市で増加しており、東京都区部が159,564人増加(1.4%増)と最も多くなっています。増加率では、川崎市が5.2%増と最も高く、本市は2.6%増(40,010人増)で増加率、増加数ともに第6位となっています。一方、減少した都市は4都市で、大阪市が82,739人減(2.3%減)と最も減少しています。

表4 15大都市の昼間人口、夜間人口及び昼夜間人口比率

都 市	常住地による人口 (夜間人口)		流入超過人口		従業地・通学地による 人口 (昼間人口)		昼夜間人口比率(%)		12～17年の 昼間人口の増減	
	平成12年	平成17年	平成12年	平成17年	平成12年	平成17年	平成12年	平成17年	増減数	率(%)
福岡市	1,336,662	1,384,925	194,512	186,259	1,531,174	1,571,184	114.6	113.4	40,010	2.6
札幌市	1,797,479	1,877,965	23,278	15,981	1,820,757	1,893,946	101.3	100.9	73,189	4.0
仙台市	1,007,628	1,020,160	82,534	78,821	1,090,162	1,098,981	108.2	107.7	8,819	0.8
さいたま市	1,131,538	1,172,677	-94,560	-95,039	1,036,978	1,077,638	91.6	91.9	40,660	3.9
千葉市	883,008	919,550	-24,306	-25,523	858,702	894,027	97.2	97.2	35,325	4.1
東京都区部	8,092,268	8,351,955	3,032,867	2,932,744	11,125,135	11,284,699	137.5	135.1	159,564	1.4
横浜市	3,414,860	3,545,447	-323,694	-340,303	3,091,166	3,205,144	90.5	90.4	113,978	3.7
川崎市	1,249,029	1,326,152	-151,939	-171,716	1,097,090	1,154,436	87.8	87.1	57,346	5.2
静岡市	710,830	700,575	33,302	26,635	744,132	727,210	104.7	103.8	-16,922	-2.3
名古屋市	2,148,949	2,193,973	365,600	322,223	2,514,549	2,516,196	117.0	114.7	1,647	0.1
京都市	1,461,052	1,460,688	130,030	122,292	1,591,082	1,582,980	108.9	108.4	-8,102	-0.5
大阪市	2,595,394	2,594,686	1,069,020	986,989	3,664,414	3,581,675	141.2	138.0	-82,739	-2.3
神戸市	1,492,143	1,520,551	44,573	27,420	1,536,716	1,547,971	103.0	101.8	11,255	0.7
広島市	1,132,660	1,144,498	37,548	29,903	1,170,208	1,174,401	103.3	102.6	4,193	0.4
北九州市	1,010,127	992,654	34,839	27,793	1,044,966	1,020,447	103.4	102.8	-24,519	-2.3

注) 常住地による人口(夜間人口)、従業地・通学地による人口(昼間人口)には、年齢不詳の人口を含まない。
さいたま市、静岡市、京都市、広島市の平成12年の数値は、合併市町村を合計した数値である。

2 通勤・通学人口

(1) 本市を従業地・通学地とする人口

市内の15歳以上就業・通学者の約3割が市外から

福岡市を従業地・通学地とする就業者及び通学者の総数は1,032,207人で、内訳は、就業者が798,752人、通学者は15歳以上が130,994人、15歳未満が102,461人となっています。前回(1,058,056人)と比べ、25,849人、2.4%減少しています。

このうち、15歳以上就業者及び通学者929,746人を、常住地別に見ると、本市内に常住が668,573人(構成比71.9%)、市外に常住が261,173人(同28.1%)で、市外から本市への通勤・通学の内訳は、通勤者216,534人、通学者44,639人となっています。

市外からの通勤・通学を地域別に見ると、県内の他市町村からは239,688人(構成比91.8%)、県外からは21,485人(同8.2%)で、県内からの内訳を見ると、181,516人(同69.5%)が福岡都市圏で、上位から春日市25,905人、大野城市19,936人、前原市17,304人、筑紫野市15,992人、太宰府市12,268人の順となっています。

表5 本市を従業地・通学地とする人口(昼間人口)の従業・通学状況

年次、年齢、 就業・通学	従業地・通学 地による人口 (昼間人口)	福岡市に常住				福岡市外に常住		
		従業も 通学も していない	自宅で 従業	自宅外の 自区内で 従業・通学	自市内の 他区で従 業・通学	総数	県内他市 町村から	県外から
平成12年	1,531,174	416,693	51,908	430,726	310,266	265,156	246,569	18,587
平成17年	1,571,184	449,918	49,499	410,413	309,747	262,548	241,005	21,543
構成比 (%)	100.0	28.6	3.2	26.1	19.7	16.7	15.3	1.4
15歳未満	188,985	86,524	-	97,475	3,611	1,375	1,317	58
15歳以上	1,382,199	363,394	49,499	312,938	306,136	261,173	239,688	21,485
就業者・通学者	1,032,207	-	49,499	410,413	309,747	262,548	241,005	21,543
15歳以上就業者・通学者	929,746	-	49,499	312,938	306,136	261,173	239,688	21,485
就業者	798,752	-	49,499	261,516	271,203	216,534	200,294	16,240
通学者	130,994	-	-	51,422	34,933	44,639	39,394	5,245
15歳未満通学者	102,461	-	-	97,475	3,611	1,375	1,317	58

注) 従業地・通学地による人口(昼間人口)には、労働力状態不詳の人口を含むが、年齢不詳の人口は含まない。
構成比の計は、労働力状態不詳を含むため100%にならない。

(2) 本市に常住する人の通勤・通学人口

市内に住む15歳以上就業・通学者の1割超が市外へ

福岡市に常住する就業者及び通学者の総数は845,948人で、内訳は、就業者が648,832人、通学者は15歳以上95,680人、15歳未満101,436人となっています。前回(863,544人)と比べ、17,596人、2.0%減少しています。

15歳以上就業者及び通学者744,512人を、従業・通学地別に見ると、「自宅外の自区内で」が312,938人(構成比42.0%)と最も多く、以下、「自市内の他区で」が306,136人(同41.1%)、「市外で」が75,939人(同10.2%)、「自宅で従業」が49,499人(同6.6%)となっています。

市外への通勤・通学者75,939人の内訳は、通勤者66,614人、通学者9,325人で、地域別に見ると、県内他市町村へ66,990人(構成比88.2%)、県外へ8,949人(同11.8%)となっています。

県内他市町村のうち、54,420人(同71.7%)が福岡都市圏で、上位から大野城市6,154人、粕屋町5,772人、春日市5,408人、新宮町4,990人の順となっています。

表6 本市を常住地とする人口(夜間人口)の従業・通学状況

年次、年齢、 就業・通学	常住地による人口 (夜間人口)	従業も通学 もしていない	市内で従業・通学			市外で従業・通学		
			自宅で 従業	自宅外の 自区内で	自市内の 他区で	総数	県内他市 町村で	他県で
平成12年	1,336,662	416,693	51,908	430,726	310,266	70,644	63,460	7,184
平成17年	1,384,925	449,918	49,499	410,413	309,747	76,289	67,280	9,009
構成比 (%)	100.0	32.5	3.6	29.6	22.4	5.5	4.9	0.7
15歳未満	187,960	86,524	-	97,475	3,611	350	290	60
15歳以上	1,196,965	363,394	49,499	312,938	306,136	75,939	66,990	8,949
就業者・通学者	845,948	-	49,499	410,413	309,747	76,289	67,280	9,009
15歳以上就業者・通学者	744,512	-	49,499	312,938	306,136	75,939	66,990	8,949
就業者	648,832	-	49,499	261,516	271,203	66,614	58,562	8,052
通学者	95,680	-	-	51,422	34,933	9,325	8,428	897
15歳未満通学者	101,436	-	-	97,475	3,611	350	290	60

注) 常住地による人口(夜間人口)には、労働力状態不詳の人口を含むが、年齢不詳の人口は含まない。

表7 地域別流入、流出口(15歳以上の通勤・通学者)の推移

地 域 市 町 村	流入人口(市外からの通勤・通学者)				流出人口(市外への通勤・通学者)				流入人口		流出人口	
	平成12年		平成17年		平成12年		平成17年		12~17年増減		12~17年増減	
	数	構成比	数	構成比	数	構成比	数	構成比	数	率	数	率
合 計	263,855	100.0	261,173	100.0	70,384	100.0	75,939	100.0	-2,682	-1.0	5,555	7.9
県 内	245,320	93.0	239,688	91.8	63,244	89.9	66,990	88.2	-5,632	-2.3	3,746	5.9
福岡都市圏	186,507	70.7	181,516	69.5	51,756	73.5	54,420	71.7	-4,991	-2.7	2,664	5.1
筑紫地域	88,609	33.6	85,577	32.8	21,885	31.1	22,273	29.3	-3,032	-3.4	388	1.8
筑紫野市	16,506	6.3	15,992	6.1	3,419	4.9	3,218	4.2	-514	-3.1	-201	-5.9
春日市	26,379	10.0	25,905	9.9	5,236	7.4	5,408	7.1	-474	-1.8	172	3.3
大野城市	20,598	7.8	19,936	7.6	5,832	8.3	6,154	8.1	-662	-3.2	322	5.5
太宰府市	13,556	5.1	12,268	4.7	4,089	5.8	4,028	5.3	-1,288	-9.5	-61	-1.5
那珂川町	11,570	4.4	11,476	4.4	3,309	4.7	3,465	4.6	-94	-0.8	156	4.7
糟屋地域	52,935	20.1	52,812	20.2	23,025	32.7	25,018	32.9	-123	-0.2	1,993	8.7
古賀市	9,664	3.7	9,760	3.7	3,693	5.2	4,051	5.3	96	1.0	358	9.7
宇美町	7,037	2.7	6,880	2.6	2,014	2.9	1,946	2.6	-157	-2.2	-68	-3.4
篠栗町	6,251	2.4	6,033	2.3	1,233	1.8	1,446	1.9	-218	-3.5	213	17.3
志免町	9,370	3.6	9,120	3.5	3,184	4.5	3,498	4.6	-250	-2.7	314	9.9
須恵町	4,933	1.9	4,557	1.7	1,558	2.2	1,516	2.0	-376	-7.6	-42	-2.7
新宮町	5,672	2.1	6,005	2.3	4,812	6.8	4,990	6.6	333	5.9	178	3.7
久山町	1,654	0.6	1,534	0.6	1,367	1.9	1,799	2.4	-120	-7.3	432	31.6
粕屋町	8,354	3.2	8,923	3.4	5,164	7.3	5,772	7.6	569	6.8	608	11.8
宗像地域	21,178	8.0	19,633	7.5	2,559	3.6	2,668	3.5	-1,545	-7.3	109	4.3
宗像市	11,694	4.4	11,059	4.2	1,540	2.2	1,489	2.0	-635	-5.4	-51	-3.3
福津市	9,484	3.6	8,574	3.3	1,019	1.4	1,179	1.6	-910	-9.6	160	15.7
糸島地域	23,785	9.0	23,494	9.0	4,287	6.1	4,461	5.9	-291	-1.2	174	4.1
前原市	17,309	6.6	17,304	6.6	3,359	4.8	3,434	4.5	-5	0.0	75	2.2
二丈町	3,013	1.1	2,682	1.0	317	0.5	357	0.5	-331	-11.0	40	12.6
志摩町	3,463	1.3	3,508	1.3	611	0.9	670	0.9	45	1.3	59	9.7
県内他市町村	58,813	22.3	58,172	22.3	11,488	16.3	12,570	16.6	-641	-1.1	1,082	9.4
北九州市	10,879	4.1	11,389	4.4	4,157	5.9	4,606	6.1	510	4.7	449	10.8
久留米市	9,290	3.5	11,122	4.3	2,840	4.0	3,144	4.1	1,832	19.7	304	10.7
小郡市	6,468	2.5	6,313	2.4	516	0.7	444	0.6	-155	-2.4	-72	-14.0
他市町村	32,176	12.2	29,348	11.2	3,975	5.6	4,376	5.8	-2,828	-8.8	401	10.1
他 県	18,535	7.0	21,485	8.2	7,140	10.1	8,949	11.8	2,950	15.9	1,809	25.3

注) 15歳未満の通学者は含まない。

宗像市、福津市の平成12年の数値は、合併市町村を合計した数値である。